

よしかず未来通信

令和3年1月発行

新年明けましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になり厚くお礼申し上げます。本年も引き続き、白山市政の発展・地域の発展に微力ではありますが全力を尽くしてまいります。

また本年2月の市議会選挙に向け、昨年来、皆様の暖かいご支援を頂き、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルスが猛威をふるい、社会生活が大幅に変化致しましたが、皆様とともにこの危機を一緒に乗り越え、令和への新時代を切り開いていきたいと思っております。

これからの人口減少、少子高齢社会に対応し、安全・安心のまちづくりを目指すとともに、地方創生時代に対応すべく開かれた議会づくりに全力で取り組んでまいります。

今後ともより一層のご指導を賜りますようお願いし、この紙面を借りて市政の主な報告をさせていただきます。

令和2年度の松陽地区の主な事業

笠間地区：金沢美川小松線道路改良事業 (4車線化用地買収概ね終了・小川町～松本町間) 県道松本木津線道路改良事業(笠間公民館前) 県道松本木津線道路改良事業(笠間交差点～柏野踏切)	H29～ R4～
加賀野地区：市道加賀野1号線歩道改良事業 (東美沢野町～西美沢野町交差点) 市道加賀野1号線歩道改良事業 (西美沢野交差点～第7号公園前)	R2年7月完成 R3年3月完成予定
宮保地区：市道E51号線道路改良事業(小川町・上小川町) 市道E10号線道路改良事業(法仏町・宮保町) 市道小川法仏線道路改良事業	H27～R5 H25～R3年3月完成予定 R4年度再開予定
柏野地区：市道米永松本線道路改良事業(荒屋柏野町)	R2年度完成予定
石川地区：鶴来美川インター線道路改良事業(水澄南交差点改良) (水道関連)	R2～
加賀野地区：水道管布設替工事(1～5、7～10工区) 水道管布設替工事(11～12工区) (西柏1丁目) 水道管布設替工事(13工区) (西柏2丁目)6工区舗装	H29～R1 R2年度 R3年度予定 R3年度
宮保地区：石綿管更新事業水道管布設替工事(百生苑) 簡易水道統合事業水道管布設工事(小川・上小川、高松地内) 宮保公民館建設関連水道管布設工事(宮保町)	R2～ R2～ R3予定
柏野地区：舗装復旧工事(下柏野町) (公民館)	R1年度施行箇所分
笠間公民館：新公民館実施設計 公民館解体 建設着工	R3年3月完了予定 R3年5月予定 R3年7月予定
宮保公民館：新公民館実施設計 用地買収 建設着工予定	R3年3月完了予定 R2年11月終了 R3年7月予定
(その他) 松任総合運動公園隣接の啓武館空調工事	R2.6新規分、 R2.8増強分完了

裏面へ続きます

ゆたかなかがやく未来

白山市議会 一般質問

白山市議会9月会議は9日、本会議を再開し、7氏が一般質問した。山田憲昭市長は北陸新幹線白山総合車両所の隣接地で2023年度内の建設を目指す見学施設「ビジターセンター」について、将来の新幹線の車両展示に備えるため、空きスペースを確保する考えを示した。JR西日本が浸水のため廃車した新幹線車両の運転台を使ったシミュレーター（体験装置）の設置を検討していることも挙げ、誘客に努める意向を強調した。

新幹線展示へ空間確保 ビジターセンター 浸水車両活用も検討

石地宜一氏（一創会）の質問に答弁した。山田市長は同センターについて、予約しなくても車両所内の整備作業を見学できるエリアが目玉の一つになると指摘した。

石地宜一氏（一創会）
業等応援給付金の申請締め切りを年度末まで再延長してほしい。

応援給付金
延長しては

山田市長 国の持続化給付金の期間が延長されれば考えたい。
石地氏 吉野工芸の里の工房作品をふるさと納税の返礼品に。
東元建設部長 作家の皆さんから相談があれば、市の良さを発信できるように前向きに取り組む。



地域の皆様の声に耳をかたむけ、
初心を忘れず市政発展に全力を
尽くします！

発行元：石地よしかず
白山市石立町181
連絡先 076-275-2099

水道料金の無料化検討

白山市、コロナで4カ月程度

白山市議会全員協議会は19日開かれ、山田憲昭市長は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う市民の経済支援策の一環として、水道の基本料金を4カ月程度、無料とすることを検討する考えを示した。市内の一般家庭、事業所を対象で、6月補正予算案に盛り込む方向で調整を進める。
上水道の基本料金は、松任、美川、鶴来地域が1カ月

819円、白山麓地域が428円。対象となる世帯、事業所は約4万2千件で、無料となる基本料金は現状、4カ月分で総額約1億3千万円程度と試算している。
山田市長は石地宜一氏（一創会）の質問に答え、「国の地方創生臨時交付金を充てられれば可能になる。何とか無料にする方がいいと思うている」と述べた。

新型コロナウイルス感染症対応状況
R2.6.5 水道事業等支援補助金(水道基本料金減免)
6月分～9月分 4ヶ月間

白山車両所の見学施設

4市町の地酒PRへ

白山市は、北陸新幹線の白山総合車両所（同市宮保町）の隣接地で2023年度末の開業を予定する見学施設「ビジターセンター」で、3市1町の地酒をPRする方針を明らかにした。山田憲昭市長が9日の市議会9月会議の石地宜一議員（一創会）の一般質問に答えた。

センター1階には白山、野々市、能美の3市と川北町の観光物販コーナーができる。地酒をテーマに、白山市内の酒蔵で醸造している日本酒のブランド「白山菊酒」や能美、野々市両市の日本酒、川北町の地ビールを紹介する。

このほか、「鉄道のまち白山」として、将来的に廃車車両を見て楽しめる展示スペースを設ける予定。展示は車両が更新される約10年後を見込み、それまでは子どもたちの昼食スペースなどに使ってもらう。

市は2月、センターの基本計画を明らかにした。全国の鉄道ファンや地域の家族らでにぎわう観光地を目指し、車両や白山山系が見える展望室、鉄道をモチーフにした遊具施設などを計画している。

将来的に車両展示も

2020年9月10日
北陸中日新聞掲載